

報告タイトル「分断の経営ーグローバル化は終焉するのかー」

氏名 安室 憲一 所属 兵庫県立大学

キーワード（5つ程度）：

ロシアのウクライナ侵攻、中国の立ち位置、団結する NATO 諸国と日本、日本の課題

要約（Abstract）

アメリカを中心に進行してきたグローバル化が曲がり角に突き当たり、多くの多国籍企業が方向転換を迫られている。得に中国の台頭がどう影響するか。日本企業を含め、これからの国際ビジネスはどのような展開を求められるのか。地球環境・政治・軍事の観点を踏まえ、これからの国際ビジネスの方向を考察する。

#### 1. 研究目的（Objective or purpose）

21 世紀の国際ビジネスの発展方向を模索する。とくに、中国の動向を中心に考察を進める。

#### 2. リサーチ・クエスチョン（Research question）

20 世紀の後半を彩った「グローバル化」がなぜ限界に至ったのか。

どのような課題に直面し、どのような方向に転換するのかを考察する。従来の経済学的視点だけでなく、環境・政治・軍事の分野も重視する。

### 3. 研究デザインと方法論 (Research design/methodology)

ミクロの視点でなく、マクロの視点から考察する。マクロの条件設定から逆算して、ミクロの企業経営に課せられる諸条件を明らかにする。

### 4. 発見事項 (Findings)

21世紀の国際ビジネスを導くトレンドを明らかにする。

### 5. 理論的・経営管理上のインプリケーション (Theoretical/managerial implications)

これからの国際ビジネス研究、多国籍企業研究に不可欠な視点、とくに地球環境問題、国際政治、軍事力のバランス等に視野を拡大していく。

### 6. 限界 (limitations)

仮説検証型の科学研究ではなく、ジャーナリスティックな論点を中心にする主観的な主張である。

### 7. 独自性と価値 (Originality/value)

学術的研究としてではなく、政策研究として考慮したい。